

超高真空極低温走査型プローブ顕微鏡システム

USM1400

高い拡張性を有した超高真空極低温SPM、 近接場光/ラマン分光に拡張可能

本装置は新規に開発されたクライオスタットを採用し、STMをはじめAFMの機能を備えた最新設計の低温SPM装置で近接場光測定やラマン分光などのまったく新しい用途に使用できます。

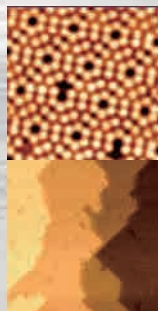
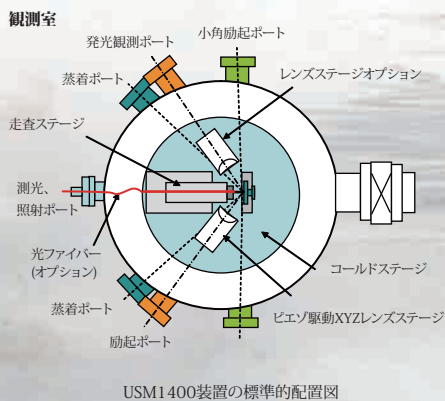


特長

- 新開発クライオスタットにより3.0KまでのSPM測定に対応
- 拡張性の高い構造を持ち、光学系レンズ、観測位置
- 蒸着、プローブ追加など様々なオプションに対応

用途

- 極低温STM、非弾性トンネル分光 (IETS)
- AFM各機能への応用 (MFM、KFM、SCMなど)
- 光励起STM、AFM測定
- 極低温高分解能トンネル発光、探針増強ラマン分光
- In situ 蒸着、原子・分子の吸着



STM像例
上: 低温超高真空下のSi(111)
下: 低温超高真空下のSi(100)

SPMヘッド	
最大スキャン範囲 (XxYxZ)	1.7 × 1.7 × 0.54 μm ³ @ 4.5 K
分解能	原子分解能
温度範囲	5.5 ~ 100 K 温調可
真空度	観測室・処理室: 3.0 × 10 ⁻⁸ Pa 導入室: 5 × 10 ⁻³ Pa
STMコントローラ	
Nanonis™ コントロールシステム	
オプション	
AFM機能	チューニングフォーク式NC-AFM
観測室拡張機能	レンズステージ、プローブステージ、高周波印加

株式会社 ユニソク



E-mail: info@unisoku.co.jp Web site: <http://www.unisoku.co.jp/>

本社・研究所 〒573-0131 大阪府枚方市春日野 2-4-3 TEL 072(858)6456 FAX 072(859)5655

20211117